

第 13 回通常総会資料

令和 7 年 5 月 30 日

一般社団法人日本リゾートクラブ協会

第 1 号 議 案

令和 6 年度事業報告書

(令和 6 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日)

令和 6 年度当協会の事業等について報告いたします。

1 会員の状況

正会員 13 社 (前年度末比±0 社)

賛助会員 23 社 (前年度末比-1 社) 退会：あいおいニッセイ同和損害保険(株)

2 理事会・総会の開催

①令和 6 年 6 月 4 日(火)東京都江東区の東京ベイコート倶楽部ボールルームにて、本年度第 1 回・第 2 回理事会並びに第 12 回通常総会を開催。

理事会議題 ① 令和 5 年度事業報告並びに収支決算報告承認の件

② 理事・監事任期到来による新理事・監事選任の件

③ 令和 6 年度事業計画並びに収支予算審議承認の件

④ (総会で人事案承認後) 理事互選により会長、副会長、常務理事を選出する件 (第 2 回理事会)

総会議題 ① 令和 5 年度事業報告並びに収支決算報告承認の件

② 理事・監事任期到来による新理事・監事選任の件

③ (理事会開催) 理事互選により会長、副会長、常務理事決定の報告

④ 令和 6 年度事業計画並びに収支予算審議承認の件

総会終了後、懇親ティーパーティーを開催。正会員等約 20 名のご出席をいただきました。

②令和 7 年 1 月 31 日(金)東京都江東区の東京ベイコート倶楽部ボールルームにて、本年度第 3 回理事会を開催。

理事会終了後、令和 7 年新年賀詞交歓会を東京ベイコート倶楽部グランドボールルームにて開催。正会員・賛助会員等約 80 名のご出席をいただきました。

3 協会の各種事業について

(1) 調査研究事業

1 国内リゾートの歴史・風土・文化財及びそのエピソード等についての調査

当年度は、令和 7 年 2 月 18 日～19 日にリゾートトラスト(株)のサンクチュアリ

コート琵琶湖を、3月25日～27日にウィンドム・デスティネーションズ・ジャパン(株)のクラブウィンドム千曲館を訪問・見学、その二つのレポートをホームページに掲載すべく大谷理事に作業をお願いしています。

今回のウィンドム・デスティネーションズ・ジャパン(株)ですべての会員各社の調査が一巡したことになります。

2 タイムシェア研究会の開催

目立ったテーマが見つからず、開催できませんでした。

(2) 研修会・セミナー事業

1 スタッフキャリアアップ研修講演会

当年度も、昨年度に引き続き開催することができませんでした。

2 支配人・管理者研修会

昨年度はオンラインで開催しました。当年度もギリギリに毎回講師をお願いしている先生に開催を打診したところ日程の調整がつかず、開催できませんでした。

3 その他

枋本教育委員長の発案で「技能実習生を含む外国人材の活用についての研究会」を8月22日(木)リゾートトラスト東京ビル7階中会議室にて開催しました。外国人材派遣会社2社5名、協会正会員4社10名(うち外国人3名)、協会から大谷理事を含め2名の計17名の出席でした。

人材派遣会社から外国人就労の現状や問題点をご説明いただき、その後質疑応答を実施しましたが、出席会員各社が様々な悩みを抱えていることがわかり、今後どのように対応していくかについて助言をいただけた有意義な研究会でした。

(3) 情報の収集と提供事業

1 ホームページによる情報提供について

イ ホームページの更新

ホームページのアクセス数を上げるため、従来から協会内のできごと、研究会の報告や常務理事の訪問先の調査・研究紀行文等ホームページ情報を大谷理事中心に随時更新してきました。さらに14年前から「クラブライフのご提案」として、協会加盟会社のホテル訪問の調査研究レポートを大谷理事に執筆をお願いし、ホームページに掲載しております。又、消費者相談室から、悪質な業者情報について、随時お知らせすることとしていますが、今年度も特に情報は入っておりません。

ロ 協会ホームページへのアクセス数

3年前からスマートフォンでも見やすくなるよう word press というソフトウェアに変更しました。以前のものはスマホではほとんど字が小さすぎて見えませんでした。今回のものは非常に見やすくなったと思います。変更につきましては、大谷先生の紹介で、工学院大学の先生に引き続きメンテナンスも含めお願いしております。

アクセス数は月別に下記の通りで、年間 94,616 件で約 14 千件減少しました。ただ、10月以降は増加しつつあります。

4月	8,002	8月	7,066	12月	8,812
5月	4,718	9月	6,842	1月	9,712
6月	4,205	10月	8,972	2月	8,052
7月	7,653	11月	8,047	3月	12,533

2 クラブとの共催イベントの実施

新型コロナウイルスの感染拡大以降、イベントを開催するクラブもなく実施できていません。

3 その他

- ・毎年恒例ですが、公益財団法人日本生産性本部よりレジャー白書についてのヒアリングがあり、それに対して情報提供を行いました。
- ・9月19日（木）横浜ベイコート倶楽部ホテル&スパリゾートと併設するザカハラホテル&リゾート横浜を見学しました。ちょうど2020年の新型コロナウイルスの感染拡大中のオープンで、見学ができていませんでしたので念願がかないました。

(4) リゾネット事業

本年度のリゾネット参加施設は12社、国内25施設（前年度比±0）でスタート。前期末にパンフレット17,500部（前年度比－500部）を配布済。

本年度のリゾネット利用者数（受入ベース）

4月	264	8月	556	12月	211
5月	317	9月	359	1月	223
6月	204	10月	405	2月	250
7月	403	11月	389	3月	293

本年度の利用者数合計 3,874名（前年同期比 +13.3%）

前年同期利用者数合計 3,420 名

利用実績は昨年度を約 13%上回り、国内旅行需要の旺盛もあり、新型コロナウイルスの感染拡大前の水準を大きく上回っています。

当年度、送客の多かったクラブは、セラヴィリゾート泉郷で、大きく他を引き離してトップ、次いで鴨川リゾートクラブ、紀鉄クラブ。受入の多い施設は、断トツでヴィラ北軽井沢エルウィングです。

(5) 消費者相談事業

取扱件数、内容は別紙のとおりで、昨年度に比べ 11 件減少しています。今年度の特徴としては、相変わらず共有制の会員権の処分についての相談が寄せられていますが、件数的には落ち着いてきたように思います。消費者センター絡みの案件については、その案件ごとに各社の担当者と相談の上対応しました。

一般消費者に対しては、今年度現状では特に注意喚起情報の発信はありませんでした。

4 その他の事項

4 月 24 日（水）25 日（木）令和 5 年度の監査（佐藤監事・朽本監事）を実施。

10 月 22 日（火）本年度上期の会計監査（佐藤監事）を実施。

以上

令和6年度消費者相談室取扱状況

(一社)日本リゾートクラブ協会

消費者相談室

1. 取扱件数	令和5年度	令和6年度	前年比増減
相談・問い合わせ	53	42	-11
苦情	0	0	0
合 計	53	42	-11

2. 相談問い合わせの内訳	令和5年度	令和6年度	前年比増減
協会の案内・資料請求など	20	12	-8
会員権の売却検討	8	9	1
会員権の購入検討	2	2	0
加盟会社の問い合わせ	13	6	-7
非加盟会社の問い合わせ	4	5	1
事業化相談・業界調査	1	4	3
その他	5	4	-1
合 計	53	42	-11

3. 苦情の内訳	令和5年度	令和6年度	前年比増減
個 人	0	0	0
法 人	0	0	0
預託制	0	0	0
共有制	0	0	0
その他システム	0	0	0
会員権仲介取引	0	0	0
勧 誘	0	0	0
契 約	0	0	0
解約・預託金返還	0	0	0
利用・料金	0	0	0
その他	0	0	0
会員権仲介取引	0	0	0

消費者センターからの相談・問合せ 9件

第 12 期 決 算 報 告 書

自 令和 6 年 4 月 1 日
至 令和 7 年 3 月 31 日

東京都渋谷区代々木 4 丁目 36 番 19 号

リゾートトラスト東京ビル 3 階

一般社団法人日本リゾートクラブ協会

会 長 伊 藤 勝 康

令和6年度収支計算書

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

単位:円

	科目	予算額	決算額	差異
収入の部	1.入会金収入	150,000	0	150,000
	正会員入会金	100,000	0	100,000
	賛助会員入会金	50,000	0	50,000
	2.会費収入	7,550,000	7,440,000	110,000
	正会員会費	5,100,000	5,040,000	60,000
	賛助会員会費	2,450,000	2,400,000	50,000
	3.事業収入	1,730,000	727,990	1,002,010
	調査・研究事業	0	0	0
	研修会・セミナー事業	500,000	0	500,000
	情報収集・提供事業	500,000	0	500,000
	倫理審査事業	0	0	0
	相互利用事業	730,000	727,990	2,010
	消費者相談事業	0	0	0
	4.その他収入	300	12,548	△ 12,248
	受取利息	300	12,548	△ 12,248
	雑収入	0	0	0
	収入合計	9,430,300	8,180,538	1,249,762

単位:円

	科目	予算額	決算額	差異
支 出 の 部	1.事業費	6,175,000	5,294,213	880,787
	調査・研究事業	1,500,000	1,446,970	53,030
	研修会・セミナー事業	1,000,000	572,063	427,937
	情報収集・提供事業	1,800,000	1,507,131	292,869
	倫理審査事業	0	0	0
	相互利用事業	1,385,000	1,282,993	102,007
	消費者相談事業	490,000	485,056	4,944
	2.管理費	3,284,000	2,439,397	844,603
	給与・手当	1,080,000	1,080,000	0
	法定福利費	0	0	0
	会議費	800,000	560,000	240,000
	旅費交通費	250,000	133,874	116,126
	通信費	40,000	30,740	9,260
	備品費	20,000	0	20,000
	消耗品費	150,000	23,589	126,411
	印刷費	5,000	0	5,000
	新聞図書費	5,000	0	5,000
	水道光熱費	14,000	8,663	5,337
	賃借料	420,000	409,420	10,580
	支払手数料	180,000	121,361	58,639
	諸謝費	0	0	0
	租税公課	70,000	70,000	0
	情報交流費	50,000	0	50,000
	諸雑費	200,000	1,750	198,250
	3.予備費	200,000	0	200,000
	支出合計	9,659,000	7,733,610	1,925,390
当期収支差額		△ 228,700	446,928	△ 675,628
前期繰越収支差額		17,396,449	18,331,997	△ 935,548
次期繰越収支差額		17,167,749	18,778,925	△ 1,611,176

貸 借 対 照 表

(令和7年3月31日)

単位:円

	勘 定 科 目		当 年 度	前 年 度	増 減
	大 科 目	中 科 目			
資 産 の 部	流 動 資 産	現 金	73,614	58,676	14,938
		普通預金	7,759,021	7,732,641	26,380
		定期預金	14,000,000	14,000,000	0
		未 収 金	-	-	0
	流動資産合計		21,832,635	21,791,317	41,318
	特 定 資 産	公益事業 推進基金	-	-	0
		特定資産合計	-	-	0
	その他の固定資産	電話加入権	72,800	72,800	0
		その他の固定資産 合計	72,800	72,800	0
	固 定 資 産 合 計		72,800	72,800	0
資 産 合 計			21,905,435	21,864,117	41,318
負 債 の 部	流 動 負 債	預り金	3,043,086	3,443,086	△ 400,000
		未払金	0	5,610	△ 5,610
	流 動 負 債 合 計		3,043,086	3,448,696	△ 405,610
正 味 財 産 の 部	正 味 財 産	正 味 財 産	18,862,349	18,415,421	446,928
	正 味 財 産 合 計		18,862,349	18,415,421	446,928
負債及び正味財産合計			21,905,435	21,864,117	41,318

財 産 目 録

(令和7年3月31日)

単位:円

	勘 定 科 目		金 額	摘 要
	大 科 目	中 科 目		
資産の部	流 動 資 産	現 金	73,614	手許現金
		普 通 預 金	7,759,021	三菱UFJ銀行・新宿中央支店
		定 期 預 金	14,000,000	三菱UFJ銀行・新宿中央支店
	流 動 資 産 合 計		21,832,635	
	特 定 資 産	公益事業推進基金	0	
	その他の固定資産	電 話 加 入 権	72,800	電話加入権
	固 定 資 産 合 計		72,800	
	資 産 の 合 計		21,905,435	
負債の部	流 動 負 債	預 り 金	3,043,086	(会費等)
		未 払 金	0	
	流 動 負 債 合 計		3,043,086	
	負 債 の 合 計		3,043,086	
	正 味 財 産		18,862,349	

令和6年度正味財産増減計算書（令和6年4月1日～令和7年3月31日）

I 一般正味財産増減の部

科 目		当 年 度	前 年 度	増 減
大 科 目	中 科 目			
【経常収益】				
受取入会金		0	0	0
	正 会 員	0	0	0
	賛 助 会 員	0	0	0
受 取 会 費		7,440,000	7,440,000	0
	正 会 員	5,040,000	5,040,000	0
	賛 助 会 員	2,400,000	2,400,000	0
事 業 収 益		727,990	822,000	△ 94,010
	調 査・研 究	0	0	0
	研修会・セミナー	0	84,000	△ 84,000
	情報収集・提供	0	0	0
	倫 理 審 査	0	0	0
	相 互 利 用	727,990	738,000	△ 10,010
	消費者相談	0	0	0
雑 収 益		12,548	292	12,256
	受 取 利 息	12,548	292	12,256
	雑 収 入	0	0	0
経常収益計		8,180,538	8,262,292	△ 81,754
【経常費用】				
事 業 費		5,294,213	5,346,512	△ 52,299
	調 査・研 究	1,446,970	1,442,580	4,390
	研修会・セミナー	572,063	620,997	△ 48,934
	情報収集・提供	1,507,131	1,491,553	15,578
	倫 理 審 査	0	0	0
	相 互 利 用	1,282,993	1,307,017	△ 24,024
	消費者相談	485,056	484,365	691
管 理 費		2,439,397	2,456,069	△ 16,672
	給 与・手 当	1,080,000	1,080,000	0
	法定福利費	0	0	0
	会 議 費	560,000	502,760	57,240
	旅費交通費	133,874	128,990	4,884
	通 信 費	30,740	34,280	△ 3,540
	備 品 費	0	0	0
	消 耗 品 費	23,589	71,138	△ 47,549
	印 刷 費	0	0	0
	新聞図書費	0	0	0
	水道光熱費	8,663	9,177	△ 514
	賃 借 料	409,420	409,420	0
	支払手数料	121,361	91,432	29,929
	諸 謝 費	0	0	0
	租 税 公 課	70,000	70,000	0
	情報交流費	0	0	0
	諸 会 費	0	0	0
	諸 雑 費	1,750	58,872	△ 57,122
経 常 費 用 計		7,733,610	7,802,581	△ 68,971
当 期 経 常 増 減 額		446,928	459,711	△ 12,783
当 期 経 常 外 増 減 額		0	0	0
当期一般正味財産増減額		446,928	459,711	△ 12,783
一般正味財産期首残高		18,415,421	17,955,710	459,711
一般正味財産期末残高		18,862,349	18,415,421	446,928

II 指定正味財産増減の部

当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0

III 正味財産期末残高	18,862,349	18,415,421	446,928
--------------	------------	------------	---------

令和6年度正味財産計算書（令和6年4月1日～令和7年3月31日）

I 一般正味財産増減の部

科 目		当 年 度	前 年 度	増 減
大 科 目	中 科 目			
【経常収益】				
受取入会金		0	0	0
	正 会 員	0	0	0
	賛 助 会 員	0	0	0
受 取 会 費		7,440,000	7,440,000	0
	正 会 員	5,040,000	5,040,000	0
	賛 助 会 員	2,400,000	2,400,000	0
事 業 収 益		727,990	822,000	△ 94,010
	調 査・研 究	0	0	0
	研修会・セミナー	0	84,000	△ 84,000
	情報収集・提供	0	0	0
	倫 理 審 査	0	0	0
	相 互 利 用	727,990	738,000	△ 10,010
	消費者相談	0	0	0
雑 収 益		12,548	292	12,256
	受 取 利 息	12,548	292	12,256
	雑 収 入	0	0	0
経常収益計		8,180,538	8,262,292	△ 81,754
【経常費用】				
事 業 費		5,294,213	5,346,512	△ 52,299
	給与手当	2,520,000	2,520,000	0
	法定福利費	0	0	0
	旅費交通費	686,266	648,923	37,343
	通信費	161,392	153,201	8,191
	備品費	0	1,772	△ 1,772
	消耗品費	18,068	23,370	△ 5,302
	会議費	246,824	206,029	40,795
	印刷費	750,750	766,700	△ 15,950
	水道光熱費	20,215	21,414	△ 1,199
	賃借料	822,360	822,360	0
	諸謝費	0	110,000	△ 110,000
	諸雑費	68,338	72,743	△ 4,405
管 理 費		2,439,397	2,456,069	△ 16,672
	給 与・手 当	1,080,000	1,080,000	0
	法定福利費	0	0	0
	会 議 費	560,000	502,760	57,240
	旅費交通費	133,874	128,990	4,884
	通 信 費	30,740	34,280	△ 3,540
	備 品 費	0	0	0
	消 耗 品 費	23,589	71,138	△ 47,549
	印 刷 費	0	0	0
	新聞図書費	0	0	0
	水道光熱費	8,663	9,177	△ 514
	賃 借 料	409,420	409,420	0
	支払手数料	121,361	91,432	29,929
	諸 謝 費	0	0	0
	租 税 公 課	70,000	70,000	0
	情報交流費	0	0	0
	諸 会 費	0	0	0
	諸 雑 費	1,750	58,872	△ 57,122
予備費		0	0	0
経 常 費 用 計		7,733,610	7,802,581	△ 68,971
経 常 増 減 額		446,928	459,711	△ 12,783
経 常 外 増 減 額		0	0	0
一般正味財産増減額		446,928	459,711	△ 12,783
一般正味財産期首残高		18,415,421	17,955,710	459,711
一般正味財産期末残高		18,862,349	18,415,421	446,928

II 指定正味財産増減の部

当期指定正味財産増減額		0	0	0
指定正味財産期首残高		0	0	0
指定正味財産期末残高		0	0	0
III 正味財産期末残高		18,862,349	18,415,421	446,928

令和7年 4月22日

監 査 報 告 書

一般社団法人日本リゾートクラブ協会

監事 佐藤 茂 

監事 杉本雅尚 

第12期事業年度の事業報告、計算書類、これらの附属明細書、その他理事の職務執行の監査について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

監事間の協議により、監査方針を定めた上で、監事 佐藤 茂は会計帳簿の分野を中心に、監事 杉本 雅尚は法人業務の分野を中心に調査を行い、その結果を監事間で協議して監査を実施しました。

具体的には、理事会その他の重要な会議に出席し、会計帳簿、会計書類、重要な決裁文書及び報告書を閲覧し、当法人の理事等から職務の執行状況等について定期的に報告を受け、また随時説明を求めました。

2 監査の結果

- (1) 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、当法人の状況を正しく表示しています。
- (2) 理事の職務の遂行に関し、不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。
- (3) 当法人の業務の適正を確保するために必要な体制の整備等についての理事会の決議は相当です。
- (4) 計算書類とその附属明細書は、当法人の財産及び損益の状況を全ての重要な点において適正に表示しています。

以上

第 2 号 議 案

令 和 7 年 度 事 業 計 画 書

昨今の世界の状況は、ロシアのウクライナへの侵攻とイスラエル軍のガザ地区への攻撃は、関係国の思惑もあり、未だ停戦の糸口が見つかっていません。人道的見地からも早期に終結して欲しいものです。それに加えて、今年 1 月に就任したトランプ米国大統領の言動で世界情勢が動く状況で全く不透明な状況です。現在も関税引き上げの問題で世界が動揺しています。(2025 年 4 月初旬現在)

わが国でも、政界では自民党派閥の裏金問題が解決したとは言えず、石破政権も少数与党の悲哀でほとんど動きがとれない状況です。また経済面においては、お米や野菜等の食料品を中心に物価の上昇が急激で、いくら賃上げがあつたとしてもカバーできない物価高になっています。年金のアップが見込めない高齢者にとっては大きな打撃になることは必至で、賢明な対策を願うばかりです。

観光、宿泊等のサービス産業関係は、余暇活動の活発化やインバウンドの増加で非常に忙しくなり、ホテル業界では人手不足のため悲鳴を上げている状況と聞いております。インバウンドは、昨年年間 3600 万人を突破し、今年に入っても単月で 3 百万人を超えたとのニュースも出ており、オーバーツーリズムの懸念も生じているくらい活況のようです。会員制リゾートも、集客については同様に好調を維持しているようですし、会員権の販売も、株価は微妙ではありますが、好調と推定されております。

こうした中で、協会の果たすべき役割は、会員企業の経営安定のための情報の発信をしながら、リゾートクラブ産業の認知度及び信頼度のさらなる向上及び国民の皆様に、安心感、親しみ、気軽さをもっていただけるような業界のイメージアップ戦略の遂行です。そのため、リゾート業界をさらに活性化していく手段として、次のような具体策を計画しました。

令和 4 年度で平成 25 年一般社団法人に移行以来実施した公益目的支出計画の実施は完了しており、これに縛られない収益活動も可能となりますが、なかなか簡単に見つけることはできません。当面、共益活動を継続しますが、会員企業皆様からのご提案をお願いいたします。

1 調査研究事業

リゾートライフ調査研究・情報提供

公益目的支出事業の継続事業として実施し、一応すべての会員企業のホテルを訪問・見学してきましたが、今後も引き続きリゾートライフ調査研究・情報提供事業を実施します。これは、国内リゾート地域の歴史、風土、文化及びその魅力等を調査研究し、リゾートクラブシステムを最大活用したその地域の楽しみ方を、ホームページにわかりや

すく掲載・紹介していくことです。昨年度は、リゾートトラスト株式会社のサンクチュアリコート琵琶湖とウィンダムデスティネーションズジャパン株式会社のクラブウィンダム千曲館を大谷理事と2～3月に訪問・見学を実施しました。現在、そのレポートをホームページに掲載する準備中です。今年度もまた大谷理事のご協力のもと、会員企業の新しい施設を視察する予定です。

また、「タイムシェア研究会」を「リゾート会員権の流通・再利用の現況と展望」のテーマで開催しております。重要かつ解決しなければならない課題であり、テーマを煮詰めながらさらに議論を継続していきたいと思っております。

2 研修会・セミナー事業

(1) ホテルスタッフ・管理部門対象の研修会の開催

昨年度もスタッフのキャリアアップを目的とした研修講演会を実施できませんでした。本年度は「カスハラ・パワハラ」研修会を9月10日（水）にリアルとオンラインのハイブリッド開催を予定しております。

(2) 支配人・管理者研修会の開催

昨年度は、実施できませんでした。本来この研修会は対面で実施してこそ有意義なものと考えておりますが、地理的・時間的な制約やコスト面の問題もあることから枋本教育委員長や講師の先生とも協議の上、オンラインで6月4日（水）に開催いたします。（すでにご案内しております）支配人及び管理者のマネジメント能力、掌握力、社会性を高めるための研修会であり、対象となる多くの方々に受講をお願いいたします。

3 情報の収集と提供事業

(1) 会員制リゾートクラブ事業者の情報収集

現在国内で営業を継続している会員制リゾートクラブ事業者（会員各社も）についての情報を収集し、様々な資料を収集していくことはもちろん、その集めた資料を、ホームページを使って発信します。各クラブも積極的な情報の提供・活用をお願いいたします。

(2) ホームページによる情報の提供

当協会のホームページは、加盟クラブを主体としたリゾートクラブの包括的なホームページという特徴があり、情報媒体としての広告価値が高いものと考えております。大谷理事を中心に更新作業を実施しておりますが、訪問数は着実に増加しております。今年度も関係者の意見を集約し、ページ内容を強化するとともに、スマートフォン向けのコンテンツを含め、常に最新性を保つよう随時更新して、魅力ある情報を発信し続けることとします。

(3) 新聞雑誌への広報等

新聞やテレビ・ラジオ等からの取材依頼についても積極的に対応し、会員制リゾートクラブの情報発信を続けていきます。毎年、日本生産性本部の「レジャー白書」への情報提供も続けております。

(4) 共催イベントの開催

新型コロナウイルスの感染拡大がきっかけにどちらのクラブでも現状ほとんど開催しておりません。新たなリゾートのファンを呼び込むためにも開催できることを願っています。

4 消費者相談事業

公益目的支出計画の継続事業として実施してきた消費者情報提供事業を引き続き同様に実施します。

また、会員企業各社や消費者庁の国民生活センターとも情報を共有し、悪質な業者の排除に努めていきます。

5 相互利用事業

リゾネット事業

リゾネットは、協会加盟クラブの差別化策として、会員に大変好評で有意義なものであり、会員との結びつきを強化する事業となっております。利用者もコロナ前を超えつつあります。今後リゾネット協議会での提案を踏まえた改善策の実現、クラブや施設ごとのタイムリーな情報提供をホームページで発信し、さらに利用の促進を図る計画です。

6 その他重点事項

(1) 会員組織の拡大策

業界全体からみれば正会員については、新規に参入する企業も少なく、さらなる会員の増強は厳しい状況です。

その中で、未加入の健全な会員制リゾート事業者へのアプローチを続けることはもちろん、会員制をとっていない事業者にも会員制のメリットを伝えながら勧誘していきます。会員以外の会社に対して研修会等の行事に門戸を広げるなどの方策により、正会員、賛助会員の新規入会促進への活動を推進します。

(2) 委員会機能の強化

時代の流れが速く、種々の課題が発生することに備え、合同委員会や各種協議会の機能を強化し、それらにスピーディーに対応できる相互協力体制を構築します。

協会の運営は、事務局 1 名体制で、活動にも限界があり、会員各社よりの提案・提言が必要となります。

令和 7 年度（第 13 期）収支予算書

自 令和 7 年 4 月 1 日
至 令和 8 年 3 月 31 日

東京都渋谷区代々木 4 丁目 36 番 19 号
リゾートトラスト東京ビル 3 階

一般社団法人日本リゾートクラブ協会

会 長 伊 藤 勝 康

令和7年度収支予算書

(令和7年4月1日～令和8年3月31日)

(単位:円)

(収入の部)

科目	内訳	予算額	前年度予算額	差異
1.入会金収入		150,000	150,000	0
	正会員	100,000	100,000	0
	賛助会員	50,000	50,000	0
2.会費収入		7,450,000	7,550,000	△ 100,000
	正会員	5,100,000	5,100,000	0
	賛助会員	2,350,000	2,450,000	△ 100,000
3.事業収入		1,680,000	1,730,000	△ 50,000
	調査・研究	0	0	0
	研修会・セミナー	500,000	500,000	0
	情報収集・提供	500,000	500,000	0
	倫理審査	0	0	0
	相互利用	680,000	730,000	△ 50,000
	消費者相談	0	0	0
4.その他収入		15,000	300	14,700
	受取利息	15,000	300	14,700
	雑収入	0	0	0
収入合計		9,295,000	9,430,300	△ 135,300

(支出の部)

科目	内訳	予算額	前年度予算額	差額
1.事業費		6,140,000	6,175,000	△ 35,000
	調査・研究	1,500,000	1,500,000	0
	研修会・セミナー	1,000,000	1,000,000	0
	情報収集・提供	1,800,000	1,800,000	0
	倫理審査	0	0	0
	相互利用	1,350,000	1,385,000	△ 35,000
	消費者相談	490,000	490,000	0
2.管理費		3,284,000	3,284,000	0
	給与・手当	1,080,000	1,080,000	0
	法定福利費	0	0	0
	会議費	800,000	800,000	0
	旅費交通費	250,000	250,000	0
	通信費	40,000	40,000	0
	備品費	20,000	20,000	0
	消耗品費	150,000	150,000	0
	印刷費	5,000	5,000	0
	新聞図書費	5,000	5,000	0
	水道光熱費	14,000	14,000	0
	賃借料	420,000	420,000	0
	支払手数料	180,000	180,000	0
	諸謝費	0	0	0
	租税公課	70,000	70,000	0
	情報交流費	50,000	50,000	0
	諸雑費	200,000	200,000	0
3.予備費		200,000	200,000	0
4.公益事業推進基金		0	0	0
支出合計		9,624,000	9,659,000	△ 35,000
当期収支差額		△ 329,000	△ 228,700	△ 100,300
前期繰越収支差額		18,331,997	17,872,749	459,248
次期繰越収支差額		18,002,997	17,644,049	358,948

令和7年度収支予算書（令和7年4月1日～令和8年3月31日）

I 一般正味財産増減の部

科 目		当 年 度	前 年 度	増 減
大 科 目	中 科 目			
【経常収益】				
受取入会金		150,000	150,000	0
	正 会 員	100,000	100,000	0
	賛 助 会 員	50,000	50,000	0
受 取 会 費		7,450,000	7,550,000	△ 100,000
	正 会 員	5,100,000	5,100,000	0
	賛 助 会 員	2,350,000	2,450,000	△ 100,000
事 業 収 益		1,680,000	1,730,000	△ 50,000
	調 査・研 究	0	0	0
	研修会・セミナー	500,000	500,000	0
	情報収集・提供	500,000	500,000	0
	倫 理 審 査	0	0	0
	相 互 利 用	680,000	730,000	△ 50,000
	消費者相談	0	0	0
雑 収 益		15,000	300	14,700
	受 取 利 息	15,000	300	14,700
	雑 収 入	0	0	0
経常収益計		9,295,000	9,430,300	△ 135,300
				0
【経常費用】				0
事 業 費		6,025,000	6,175,000	△ 150,000
	給与手当	2,520,000	2,520,000	0
	法定福利費	0	0	0
	旅費交通費	700,000	700,000	0
	通信費	250,000	250,000	0
	備品費	80,000	80,000	0
	消耗品費	25,000	25,000	0
	会議費	500,000	500,000	0
	印刷費	700,000	850,000	△ 150,000
	水道光熱費	30,000	30,000	0
	賃借料	830,000	830,000	0
	諸謝費	250,000	250,000	0
	諸雑費	140,000	140,000	0
管 理 費		3,284,000	3,284,000	0
	給 与・手 当	1,080,000	1,080,000	0
	法定福利費	0	0	0
	会 議 費	800,000	800,000	0
	旅費交通費	250,000	250,000	0
	通 信 費	40,000	40,000	0
	備 品 費	20,000	20,000	0
	消 耗 品 費	150,000	150,000	0
	印 刷 費	5,000	5,000	0
	新聞図書費	5,000	5,000	0
	水道光熱費	14,000	14,000	0
	賃 借 料	420,000	420,000	0
	支払手数料	180,000	180,000	0
	諸 謝 費	0	0	0
	租 税 公 課	70,000	70,000	0
	情報交流費	50,000	50,000	0
	諸 会 費	0	0	0
	諸 雑 費	200,000	200,000	0
予備費		200,000	200,000	0
経 常 費 用 計		9,509,000	9,659,000	△ 150,000
経 常 増 減 額		△ 214,000	△ 228,700	14,700
経 常 外 増 減 額		0	0	0
一般正味財産増減額		△ 214,000	△ 228,700	14,700
一般正味財産期首残高		18,862,349	18,415,421	446,928
一般正味財産期末残高		18,648,349	18,186,721	461,628

II 指定正味財産増減の部

当期指定正味財産増減額		0	0	0
指定正味財産期首残高		0	0	0
指定正味財産期末残高		0	0	0
III 正味財産期末残高		18,648,349	18,186,721	461,628

■ 正 会 員 名 簿 (令和7年3月31日現在)

(株)ヴィラ北軽井沢

代表取締役 大塚 勝己 〒377-1412 群馬県吾妻郡長野原町北軽井沢 1924-172 0279-84-5555

ウィンダム・デスティネーションズ・ジャパン(株) (サンダンス・リゾートクラブ)

代表取締役 Eric Dignazio 〒102-0073 千代田区九段北 4-1-9 市ヶ谷 MSビル 03-5212-7400

(株)鴨川グランドホテル (鴨川リゾートクラブ)

代表取締役社長 鈴木 健史 〒296-0044 鴨川市広場 839-13 04-7094-5581

紀州鉄道(株) (紀鉄クラブ)

代表取締役社長 中川 源行 〒103-0015 中央区日本橋箱崎町 1-7 千歳ビル 03-3230-2261

(株)セラヴィリゾート泉郷 (オアシスクラブ)

取締役社長 浜口 憲一 〒170-0005 豊島区南大塚 2-45-8 ニッセイ大塚駅前ビル 03-5981-2301

(株)ダイヤモンドソサエティ (ダイヤモンドホテルメンバーズ)

代表取締役会長 宗澤 政宏 〒540-0018 大阪市中央区粉川町 2-9 06-6765-1530

東京信用販売(株) (東京レジャーライフクラブ)

代表取締役社長 佐々木克之 〒414-0002 静岡県伊東市湯川 4-2-15 伊東パウル 0557-36-6181

株式会社日本ハウス・ホテル&リゾート倶楽部 (みやび倶楽部)

代表取締役社長 田端快健 〒102-0072 千代田区飯田橋 4-3-8 日本ハウスHD 飯田橋ビル 03-6265-6181

(株)萬代 (オテル・ド・マロニエクラブ)

代表取締役 枋本 雅尚 〒463-0070 名古屋市守山区新守山 3503 052-792-1100

Hilton Grand Vacations Japan 合同会社

代表社員 Jeffrey Bernier 〒160-6108 新宿区西新宿 8-17-1 住友不動産タワー 03-6866-4870

(株)マイステイズ・ホテル・マネジメント (エピナールリゾート クラブ)

代表取締役 代田 量一 〒100-0032 港区六本木 6-2-31 六本木ヒルズ ノースタワー 14階 03-6430-6830

(株)マグナ. リゾート (マグナ. リゾートクラブ)

代表取締役社長 條 勇二郎 〒431-1424 浜松市北区三ヶ日町下尾奈 200 053-524-1311

リゾートトラスト(株) (プライベートリゾートエクシブ)

代表取締役会長 伊藤 勝康 〒460-0005 名古屋市中区東桜 2-18-3 052-933-6000

■ 賛 助 会 員 名 簿 （令和7年3月31日現在）

アスレ倶	501-3203	岐阜県関市神野116	0575-20-2033
倶ALIVE	424-0844	静岡市清水区西高町12-29	054-355-4001
倶e会員権	231-0014	横浜市中区常盤町3-21 アライアンス関内ビル	045-222-6521
倶N. F. C	453-6127	名古屋市中村区平池町4-60-12グロハビル27F	052-583-6871
倶エンゼルホテルズ	100-0006	東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館4階	03-3201-6655
鹿島建設倶	107-8388	東京都港区元赤坂1-3-1	03-6438-2272
倶観光企画設計社	105-0004	東京都港区新橋6-17-19 新御成門ビル6階	03-6430-9011
倶きんでん	531-0074	大阪市北区本庄東2-3-41	06-6375-6010
サッポロビール倶	150-8522	東京都渋谷区恵比寿4-20-1	03-5475-0626
倶サングツ	140-8611	東京都品川区東品川3-20-17	03-3474-1245
住商インテリアインターナショナル倶	101-0054	東京都千代田区神田錦町3-26 一ツ橋ビル1階	03-5577-1761
倶ダイヤモンドSR	542-0081	大阪市中央区南船場1-3-27 NIL南船場ビル5D	06-6575-7850
（一社）日中経済文化交流協会	135-0007	東京都江東区新大橋1-12-11 安川ビル4F	03-5638-2125
倶日本経済広告社	101-8323	東京都千代田区神田小川町2-10	03-5282-8000
倶パンインテリアプロダクト	110-0016	東京都台東区台東4-8-5 T&T御徒町ビル	03-5818-6941
倶マイリゾート	420-0847	静岡市葵区西千代田町10-4	054-247-7771
倶丸八真綿	433-8124	静岡県浜松市中区泉3-1-43 D02F	053-485-4108
倶安井建築設計事務所	540-0034	大阪市中央区島町2-4-7	06-6943-1371
倶ヤマグチ企画	425-0075	焼津市西焼津15-15	054-631-6037
倶悠久	547-0014	大阪市平野区長吉川辺3-9-18	06-4305-7030
リゾート・ステーション倶	103-0027	東京都中央区日本橋3-3-12 E-1ビル6F	03-3271-5233
倶リゾートライフ	460-0002	名古屋市中区丸の内2-19-25MS桜通ビル1F	052-222-0246
倶ワタベ印刷所	961-0936	白河市大工町18	0248-22-3241